

# 平成28年度事業計画及び 収支予算の概要

## 社会福祉施設特別会計



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 1. 平成27年度 主な取り組みと今後の課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
災害対応能力の強化	災害に強い運営体制の確立	災害時の地域住民受入のための設備整備等	備蓄資材、物資の充実、訓練等による職員スキルの向上
安定した施設経営	効率的な施設運営による経営基盤の強化	個別経営指導及び支援の取り組み	日赤グループとしての施設経営の効率化
職員の能力向上	福祉サービスに従事する職員のサービスの質の向上	職員のスキルアップ研修の拡充・強化	多様化する社会福祉ニーズへの対応強化
施設運営の活性化	地域社会での多様な社会貢献活動の推進	ボランティア、各種団体等と連携した地域貢献活動の推進	地域福祉に対する更なる貢献

## 2. 社会福祉事業の方針

### 事業環境

少子高齢社会の進展等に伴う社会福祉ニーズの多様化

### 基本戦略

効率的な施設経営、人材育成の推進、地域貢献活動の強化

- 災害時の体制整備
- 経営基盤の強化
- 支部、赤十字病院等と連携した施設運営とサービスの向上
- ボランティア及び職員による施設運営と地域貢献の推進

### 施策



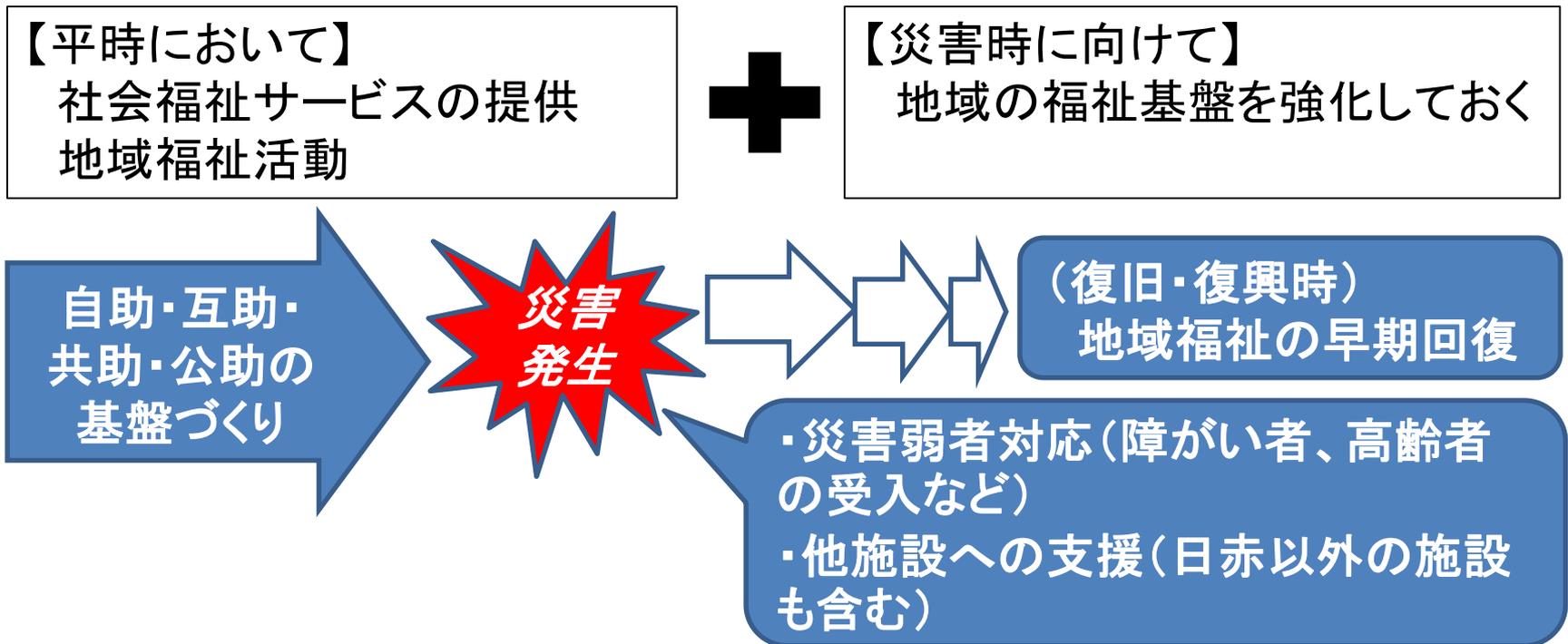
経営改善に向けた研修会の開催



ボランティアによる視覚障がい者向け  
防災・減災活動の講演

# 3. 平成28年度の事業計画

## (1) 災害対応能力の強化



- ・地域住民受入のための設備・備品、体制の整備
- ・防災減災計画、事業継続計画(BCP)の適宜見直し
- ・災害発生時における介護職員等の派遣体制の構築
- ・福祉避難所設置・運営に関する新ガイドラインの普及啓発

## (2) 経営基盤の強化

### 【国の施策】

社会保障給付費削減  
(介護報酬引き下げ等)

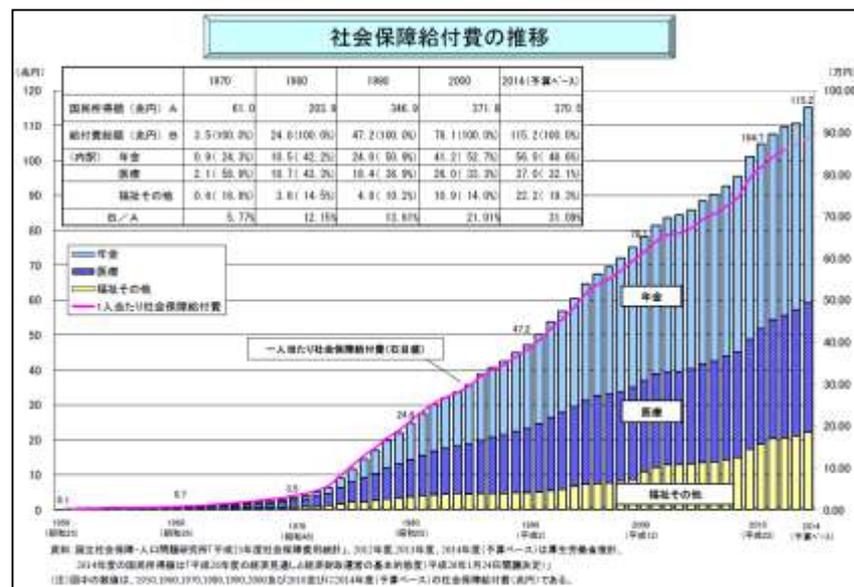
収入の増加は困難

### 本社における対策

- ・職員の経営意識の醸成
- ・研修による事務職員の能力向上
- ・所管支部を交えた個別協議
- ・物品共同購入の推進
- ・企業への寄付金協力依頼
- ・事業転換・統廃合等の検討

### 各施設の対策

- ・費用の削減
- ・用途指定寄附金の確保
- ・効率的な施設経営



### (3) 支部、赤十字病院等と連携した施設運営とサービスの向上

#### 児童福祉施設

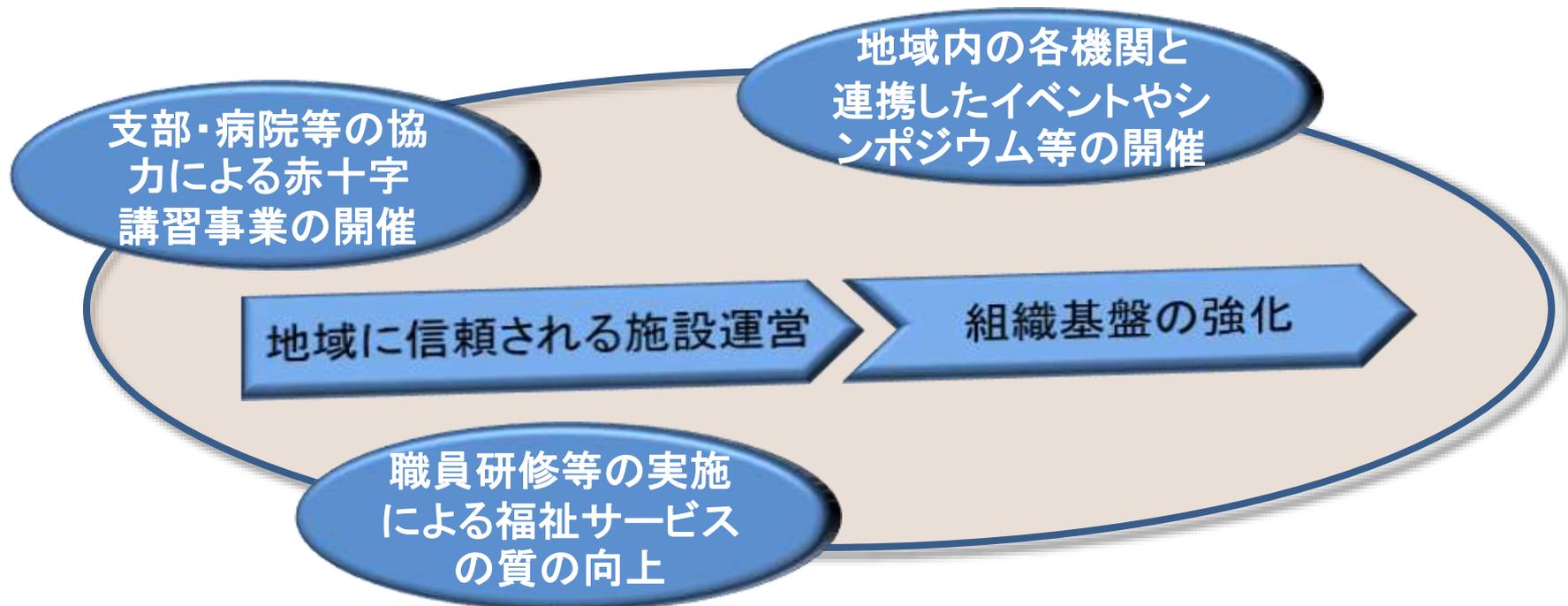
- ・幼児安全法
- ・子育て支援事業

#### 高齢者福祉施設

- ・健康生活支援講習
- ・認知症サポーター養成

#### 障がい者福祉施設

- ・生活支援の充実
- ・障がい理解の普及



# (4) ボランティア及び職員による施設運営と地域貢献の推進

## 様々なボランティアの参画を推進

## 事業広報の推進

個人、地域団体等の  
ボランティア



お話し・傾聴ボランティア



地元小学生との交流

企業CSR活動との  
コラボレーション



ANA(全日空)お茶会



ハローキティ障がい児施設訪問

広報研修会等の開催



ホームページ、SNS、  
広報媒体等の充実化



新規ボランティアの参加

施設運営の活性化  
地域貢献活動の推進

組織基盤の強化

# ○特別養護老人ホーム 豊寿園の取り組み

認知症

「認知症の方が暮らしやすい街をつくる」

計画中！



認知症サポーター養成講座・  
同ステップアップ研修の様



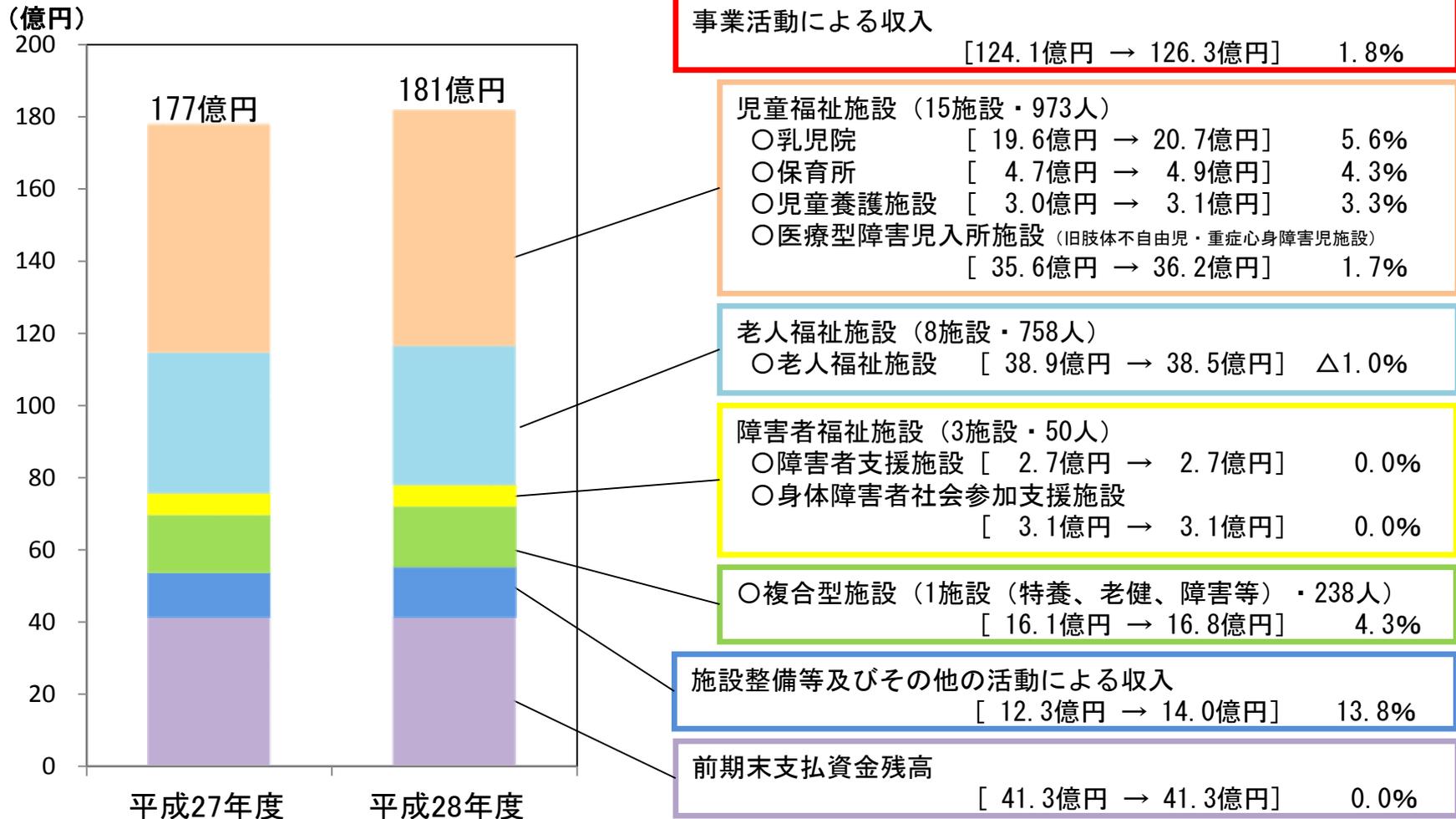
看取り

「ご利用者の尊厳を守る」



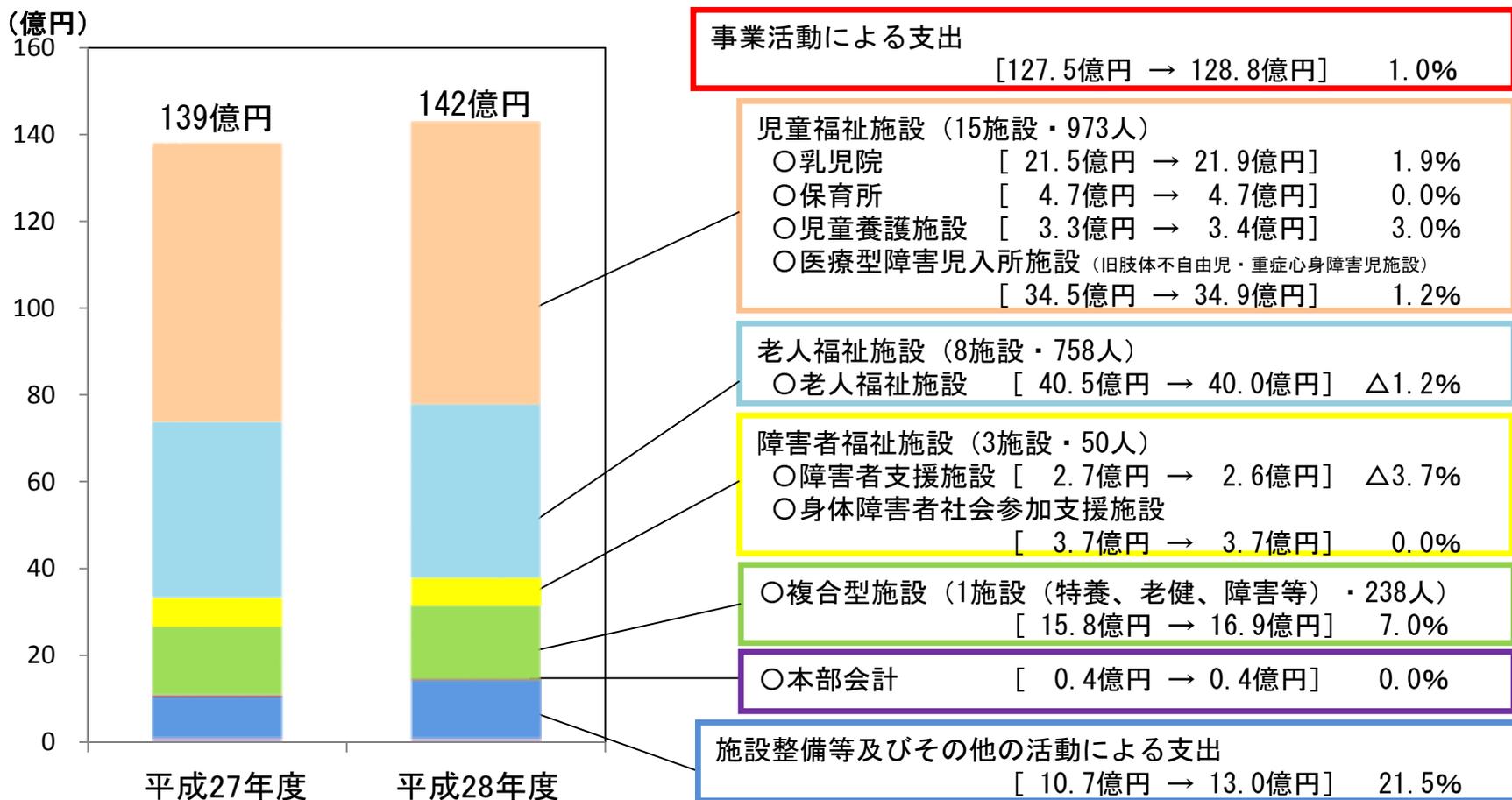
看取り介護の勉強会

# 4. 社会福祉施設特別会計歳入予算のあらまし



	平成27年度	平成28年度	増減率
<b>収入合計</b>	<b>177.8億円</b>	<b>181.7億円</b>	<b>2.2%</b>

# 5. 社会福祉施設特別会計歳出予算のあらまし



	平成27年度	平成28年度	増減率
支出合計	139.2億円	142.8億円	2.6%
収入支出差引額	38.5億円	38.9億円	1.0%

※単年度収支差額 平成27年度 △2.7億円 → 平成28年度 △2.4億円